

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-22 □支援部門		漁港施設管理運営事業				
主管課	産業振興課	関連課	道路課				
分野名	産業振興						
目標 (目標値)	市民生活に密着した形での沿岸漁業の振興 つくり育てる漁業、資源管理型漁業等による漁業経営の安定及び後継者の育成						
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考		
	人口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	288,684	278,570	412,312			
	(国・県)	261,330	198,430	295,068			
	(負担金等)	987	2,007	1,184			
	(一般財源)	26,367	78,133	116,060			
	人員配置数	2.0	1.8	1.0			
	人件費(千円)	17,847	16,483	9,185			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	306,531					
	市民1人当りの経費(円)	1,730					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
競争入札制度の採用	◎	目標値	2業務	2業務	2業務	2業務	2業務
		実績値	6業務	6業務	6業務		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統縮小 E:廃止・休止
漁港施設管理事業	2,365千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	漁港施設維持運営計画に基づき、腰越漁港の維持管理を行うとともに、腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務を行った。				
漁港施設整備事業	281,319千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	■B	□C □D □E
	事業の概要	腰越漁港改修整備事業として、平成23年度は南防波堤、波除堤の築造及び防砂堤の設計などを行った。				
鎌倉地域漁港対策事業	5,000千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	■A	□B	□C □D □E
	事業の概要	鎌倉地域の漁港建設について、ワークショップを7回開催し、広く市民意見の集約を行った。				
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	□B	□C □D □E
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	□B	□C □D □E
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒	□A	□B	□C □D □E

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	腰越漁港の改修整備工事について全体工程に遅れが生じているため、平成24年度完成が厳しい状況となっている。鎌倉地域の漁港建設については、鎌倉漁港対策協議会から答申を受けるなど一定の成果を得たが、今後、市民の合意形成を図るための施策を進めていく必要がある。
課題解決のための取組	腰越漁港の改修整備工事は、平成24年度完成を目指す、国県の補助金確保のための調整を県と鋭意進めた。鎌倉地域の漁港建設については、ワークショップを7回開催したが、参加者から更なる議論の継続について要望があり、平成24年度も継続して協議を行うことになった。
未解決の課題	腰越漁港の改修整備工事は、平成24年度完成を目指す、事業期間の延伸も視野に入れながら国県の補助金確保のための調整を県と鋭意進めている。鎌倉地域の漁港建設については、漁対協の答申やワークショップの検討の成果等を基に、市民の合意形成を図りながら、基本構想の策定を行う。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
			腰越漁港の改修整備工事は、事業期間の延伸も視野に入れながら国県の補助金確保のための調整を県と鋭意進め、早期の完成を目指す。鎌倉地域の漁港建設については、平成24年度末を目標に基本構想の策定を行う。	↓ A	課長等名 課長(代理) 加藤 博

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
漁港施設管理事業	主な個別事業	367 漁港施設等維持修繕料	500	843	■適切	□見直し余地あり
		367 腰越漁港指定管理料	378	378	■適切	□見直し余地あり
		367 漁業施設等整備業務委託料	2,300	1,144	■適切	□見直し余地あり
漁港施設整備事業	主な個別事業	370 水産公共工事システム運用支援委託料	998	998	■適切	□見直し余地あり
		370 腰越漁港改修整備事業環境モニタリング調査委託料	4,700	2,194	■適切	□見直し余地あり
		370 都市計画決定申請図書作成業務委託料	3,182	0	■適切	□見直し余地あり
		370 腰越漁港改修整備事業実施設計業務委託料	6,000	8,841	■適切	□見直し余地あり
		370 腰越漁港改修整備事業土質調査業務委託料	0	1,597	■適切	□見直し余地あり
		370 腰越漁港改修整備工事(翌年度への繰越明許費)	628,500	167,600	■適切	□見直し余地あり
		371 腰越漁港改修整備工事(前年度からの繰越明許費)	142,544	99,191	■適切	□見直し余地あり
鎌倉地域漁港対策事業	主な個別事業	1330 鎌倉漁港対策協議会委員報償費	126	0	■適切	□見直し余地あり
		1330 鎌倉地域漁港建設基本構想合意形成支援業務委託料	5,400	5,000	■適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり
	主な個別事業				□適切	□見直し余地あり